参考資料6

○○県○○市 第1期SDGs未来都市計画:計画期間20● ●年~20● ●年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

N	lo	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	1	当初値		2023年	2030年	≡(目標値)	達成度 (%)	第2期計画(または独自計画)の KPIへの反映状況
	1	年間〇〇数[8.3, 8.4, 8.9]	2019年	10 万人	2022年	15.5 万人	2030年	16 万人	92%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
	2	SDGsをテーマとした連携自治体数【11.3, 11.7, 11.a】	2019年	2.0 自治体	2022年	3 自治体	2030年	15 自治体	8%	目標達成度が低いため、第2期計画では〇〇〇〇を行い取 組達成へ向け推進を図る予定。
	3	○○に満足している人の割合【3.4, 3.6,11.2, 11.7】	2019年	20.0 %	2022年	50 %	2030年	50 %		目標が達成できており、第2期計画ではKPIを〇〇に見直し 更なる推進を図る予定。
	4	○○に満足している人の割合【3.4, 3.6,11.2, 11.7】	2019年	30.0 %	2022年	20 %	2030年	90 %	-17%	目標達成度が低いため、第2期計画では〇〇〇〇を行い取 組達成へ向け推進を図る予定。
	5	○○における温室効果ガス排出量【7.2, 7.3,13.1, 13.3 】	2019年	5 万t-CO₂	2022年	5 万t-CO ₂	2030年	5 万t-CO ₂	100%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを〇〇に見直し 更なる推進を図る予定。
	6	○○におけるごみ排出量【12.2, 12.6, 12.8】	2019年	10.0 万t	2022年	5 万t	2030年	6.0 万t	125%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを〇〇に見直し 更なる推進を図る予定。

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	¥	á初値	2	023年 実績		2023年 目標値	達成度 (%)	第2期計画(または独自計画)の KPIへの反映状況
1	に向けた取組	○○ランキング	2019年	10 位	2021	5 位	2022	5 位以内仓服顿	100%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認してい く。
2	持続可能な消費形態 の確保を通じた、地域 経済循環に向けた取	○○市の「○○○○」認定	2019年	5 件	2021	5 件	2022	15 件	110/2	目標達成度が低いため、第2期計画では〇〇〇〇を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
	日本一の○○できる 住宅の普及を通じた、 ○○の向上に向けた取 の	新築戸建住宅の○○達成率	2019年度	20 %	2022年度	52 %	2022年度	50 %	107%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを〇〇に見直し 更なる推進を図る予定。
	「歩いて暮らせるまちづく り」を通じた、〇〇向上 に向けた取組	○○○○に満足している人の割合	2019年	30 %	2021	60 %	2022	90 %	50%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認してい く。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況(自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組)

No	取組名	取組内容	指標名	当初値	2023年	2023年(目標値)	達成度 (%)	第2期計画(または独自計画)の KPIへの反映状況
1	【経済】 ① − 1 ○○なオ フィス環境を備えた○ ○の促進		低炭素で持続可能なまちづくりの先導モデルとなる建物	3 1	2022年度 6 棟	2022年度 8 棟	60%	順調に進捗しており、第2期計画に記載し、引き続き進捗を 確認していく。
2	【社会】 ② - 1 低炭素で 持続可能なまちづくり とSDGsの普及啓発		低炭素で持続可能な まちづくりの普及啓発	都心上 ネル ギーマ スタープ ラン策	アクショ 2022年 ンプラン 策定	普及啓 発プロ グラム の展開	20%	目標達成度が低いため、第2期計画では見直し、記載しない が目標達成へ向け、別の手法により推進を図る予定。
3	【環境】 ③-1 ○○○○ 制度の構築		低炭素なまちづくり及び総合エネルギー事業の枠組みづくり	制度、 事業ス キーム の検討	制度、 2022年 事業の 実施	制度、 2022年 事業の 実施	100%	目標が達成できており、第2期計画には記載しないが、引き続き取り組みを推進する。

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況(自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組)

_ \	マ/ 二関面でつる、机口に対抗性の定域がが、(口口体3 D G 3 C)が学来大阪内に圧力するが特別状態/												
N	lo	指標名	当初値		2023年 実績		2023年 目標値			達成度 (%)	第2期計画(または独自計画)の KPIへの反映状況		
	1	【経済→環境】 環境関連ビジネス交流	2019年	4	件	2022年	8	件	2022年	7	件	133%	目標を達成し、次のステップに取り組むこととした
	2	【環境→経済】 ○○プロジェクト	2019年	0	件 (検討中)	2022年	5	件 (事業化)	2022年	5	件 (事業化)	100%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを〇〇に見直し 更なる推進を図る予定。
	3	【経済→社会】 企業誘致施策を活用した企業立地数	2019年	146	件	2022年	181	件	2022年	164	件	194%	目標を大幅に達成し、2期計画外でも引き続き取り組みを推進する
	4	【社会→経済】 ○○ブランドランキング	2019年	3	位	2022年	2	位	2022年	1	位	50%	目標達成に向け、2期計画でも引き続き取り組むこととした
	5	【社会→環境】 フォーラム、勉強会、視察等の年間参加者数	2019年	200	名	2022年	710	名以上	2022年	400	名以上	255%	目標を大幅に達成し、2期計画外でも引き続き取り組みを推進する
	6	【環境→社会】 オープンイノベーション	2019年	0	件	2022年	3	件	2022年	3	件以上	100%	目的が達成されたため、2期計画には記載しないこととした。

20●●年度

第1期SDGs未来都市計画(20 ● ● ~20 ● ●)の進捗評価結果報告シート (様式3-2)

参考資料6

● 県 ○ 市 第1期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括
 ● 特筆マ本事業内容
上記の進捗状及踏まえ、順調に進捗したもの、進捗が思わしくなかったものについて、特筆すべき内容を記載ください。
(すべての項目を記載いただく必要はありませんが、達成度がマイナスの項目については対応策を含め記載してください。)
 ● 成果
 ● 決後の展望

(6) 有識者からの取組に対する評価